

# 住居環境等の改善を



質問者  
寺嶋 正 議員



仲町商店街

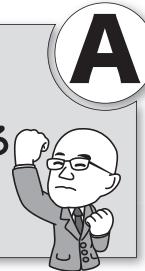
① 人口減少や高齢化の進展等により、管理されていない空家が増加傾向にある。「空家等対策の推進に関する特別措置法」に定義されている「空家等」の実態把握、空家等対策計画の策定、適切な管理の促進、「空家活用助成金」での有効活用策は。

② 商工振興策として、空き店舗の有効活用や町のまつり事業とタイアップ



## 助成事業を検証・要綱等の研究をする

回答 (町長)



プした販売事業の展開等により、商店の活性化を図る必要がある。町長が公約に掲げた「ミニスーパーやコミュニティ・マーケットの開設」のために、買い物ができる環境づくり、店舗等の改装や店舗等で使用する備品の購入に対して、費用を助成する「商店リニューアル助成事業」のお考えは。

① 防災・防犯・景観等に

松田町は、2025年対策でもある、訪問・通所介護の市町村事業への移行時期を、本年4月と決定。「多様なサービス」の確保の見通しが立たないとする市町村が3分の2もある中で、県下4市町村と共に先頭に立



質問者  
石内 浩 議員

## 福祉施策充実とその裏づけについて

わたる政策課題に横断的に応えて行く事から「空き家等」の外観調査を行い、データベースの整備を行った。

「特定空家等」については、地域住民の生命、身体または財産を保護するとともに、生活環境の保全を図り、公共の福祉の増進と地域振興に寄与するため、空家バンク制度などの充実に取り組ん

したが、その進捗状況と以下の点につき伺いたい。

① 病院のベット不足、NPO、ボランティアなどの課題も多いとされているが、松田町が考慮すべきは何か。

② 扶助費は、県全体で

でいく。

② リニューアル計画を持つている事業者向けに「小規模事業者経営改善資金利子補助金」の利子補給制度や資金融資を受けるための「中小企業信用保証料補助金」の融資制度を用意している。商店リニューアル助成事業の事業効果の検証や施工方法を調査し、仕様・要綱の研究を行う。

## 在宅サービスの向上を図る

回答 (町長)



も2.7倍(2000年度比)。都市部は法人税収の伸びはあるが、人口減・高齢化の町村は税収減少が続くが、その対応策は。

③ 認知症対応と「地域包括ケアシステム」の構築へ向けての具体的施策は、町の独自の形がいつ明示されるのか。

① 管内全域が総合事業に移行するまでは、これまでのサービスの組み替えで対応する。また、住民ボランティアによる、地域の支え合い・助け合い等の拡大を図り、サービス向上につなげたい。介護予防、閉じこもり防止目的のミニデイサー



介護予防サポーター養成講座

ビス、安否確認を併せた配食サービスの継続、さらに地域サロンをオープンした。

② 社会保障と税の一体改革で財源確保に努められているが、町も引き続き徴収率向上・税収獲得を図り、サービス低下を招かない行財政運営を行っていく。

③ 認知症対策は、初期集中支援体制、認知症地域支援員の配置が課題である。

地域包括ケアシステムの構築は、徐々に進めているが、ネットワークの充実を図っていく。